

2024_1224「冬至の”つの字”オーロラ（動画）」日々の理科 3792号
お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

スウェーデン北部のヨックモック郡も、冬至を迎えました。一年で最も夜が長く、暗い季節です。今年は太陽の黒点活動が極めて活発で、8月以来、晴れていれば毎日すばらしいオーロラを観測しています。冬至のこの日も、西側カメラが雄大なオーロラをとらえていました。

インランズバーナン（スウェーデン内陸鉄道）のポルユス駅舎（Porjus Stationshuset）には、5台のカメラを設置しています。そのうち西側カメラは、鉄道の線路越しに湖（正確にはルーレオ川の貯水池）があり、視界が開けています。その凍った湖の雪原上に、時々「つの字型」のオーロラが現れます。いわば「ポルユス名物の”つの字”オーロラ」と言っても良いと思います。今頃現地にいる旅行者は、”Jul Gog!”（クリスマスおめでとう）と叫びながら、この雄大で不思議な天空の造形に酔いしれていることでしょう。

（2024年12月下旬／スウェーデン・ヨックモック郡・ポルユス駅／東京から遠隔観測）

